

2011 年度 NPO 法人霧島ふるさと命の森をつくる会

活動報告書

第 1 回 霧島市 10 万本植林プロジェクト植林教室

平成 23 年 11 月 27 日



私たちといっしょに照葉樹の森をつくりました。

平成 24 年 2 月



NPO 法人 霧島ふるさと命の森をつくる会

[事務局] 〒899-4332 鹿児島県霧島市国分中央 1 丁目 7 番 32 号

TEL0995-73-5580 FAX0995-73-5581

メールアドレス furumori@dune.ocn.ne.jp

URL www.furumori.org/

活動報告書＜ 目 次 ＞

1 平成 23 年 11 月 27 日（日）植林教室

[植林前の姿]

[マウンドづくり]

[完 成]

[平成 23 年 11 月 27 日（日）]

2 講演会 3 部作

(1) 宮脇昭先生講演会 いのちを守る森づくりー霧島から世界へー

(2) 池田明子先生講演会 フィトセラピー（植物療法）～植物が体にいいわけ～

(3) フリートーク 霧島市長・宮脇先生・池田先生

3 ドングリ環境学習及び子どもたちと高齢者等との交流活動

① アラカシ等のドングリ種まき環境学習

② ドングリ鉢上げ体験活動

③ タブ・ヤマモモ・ヤマザクラなどの種まき、鉢上げ体験活動

④ ドングリ拾い環境学習（子どもたちと高齢者等との交流活動）

4 自然生態系及び地球温暖化に関する活動

① 「ノヒメユリ」「カワラナデシコ」などの植生調査・保護活動

5 自然環境系諸団体との交流

① 鹿児島県の里山を歩いてみました。

② 環境省登録「鹿児島カーボンマネージメント協議会」と交流

活動報告書

1 平成 23 年 11 月 27 日（日）植林教室

第 1 回霧島市 10 万本植林プロジェクト植林教室

（潜在植生による 照葉樹のもりづくり）

場所：霧島市牧園町高千穂柳ヶ平

樹種：43 種 8,000 本 面積：2,521 m² 参加者：500 人

講師：植物生態学者 宮脇昭先生

照葉樹の森づくり

森が二酸化炭素を吸収します。

日本人は古来、集落づくり、まちづくりに際し土地本来のふるさとの木によるふるさとの森を守り、つくってきました。

森は様々な生命の源です。木々だけでなく、多種多様な生物が生息する生態系もつくりあげています。私たちは、生命の源としての森を、その土地本来のドングリから苗を育て、木を植えて再生する活動を通じ、自然への感謝の気持ちを持つとともに、地球の未来に貢献したいと考えています。

今年は、43 種 8,000 本の木を植えました。

＊霧島市が、2,500 本公共施設内に植林しました。合計 10,500 本になりました。

〔植林前の姿〕



竹藪となっていました。適宜、潜在植生による生物多様性が確保された自然林再生を！！

[マウンドづくり]



マウンドを作らない平地植林の場合、樹木は地下への冷水を避けようとし、直根が伸び悩むため、地上の生育が停止します。また、排水不良によって樹木が根腐れが起きやすくなります。マウンドにすると、森の形成が早くなります。高低差があるため、日光がまんべんなく当たるし、排水がよくなるのです。

[完 成]



いつ見ても感動的です。右上に見える新燃岳も微笑んでいました。

[平成 23 年 11 月 27 日 (日)]

第 1 回霧島市 10 万本植林プロジェクト植林教室

11 月下旬とは思われないぐらいの穏やかな、時として汗ばむぐらいの日でした。

参加された 500 名、諸々のスタッフ合計約 560 名のみなさんと共に、この壮大なプロジェクトの序奏を奏でました。まだまだ序章ですが、霧島の悠久の歴史にエポックを刻んで、次の世代に引き継ぐことができると確信しました。美しい自然と霧島人の物語に人生の夢を託して、天孫降臨の神話の里の新たな神話が生まれつつあります。

壇上に立つ宮脇昭先生の「これが、この土地にあるべき主木のひとつです。タブノキ、タブノキ、タブノキ……。まじえる、まじえる、まじえる……。」声が響きました。「生きていく上で最高条件が必ずしも最適条件ではありません。生理的欲望がすべて満足できる最高条件の少し手前の、やや厳しい状態こそ、生態学的な最適条件あることを長いいのちの歴史は教えています。約 40 億年途切れることなく続いてきた地球のいのちの歴史を見つめ直しましょう。そして、現在危機に瀕している地球環境と森林の劣化・消滅の現実を直視してください。緑の植物が濃縮した立体的な土地本来の森は、照葉樹林域では主木が深根性、直根性であるため、台風や地震にも簡単には倒れません。」そして「人間の手でやる最後の水。苗を満水のトロ箱に 45 度の角度で、しっかりと水に浸してください。」



植林開始です。





そして薩摩汁などの昼食でした。



そしてお別れ



2 講演会 3 部作 平成 23 年 11 月 26 日（土）霧島市国分シビックセンター



(1) 宮脇昭先生講演会 いのちを守る森づくりー霧島から世界へー



(2) 池田明子先生講演会 フィトセラピー（植物療法）～植物が体にいいわけ～



(3) フリートーク 霧島市長・宮脇先生・池田先生



3 ドングリ環境学習及び体験活動



① アラカシ等のドングリ種まき環境学習

平成 23 年 3 月 27 日

塚脇農園

② ドングリ鉢上げ体験活動

平成 23 年 5 月 27 日

塚脇農園

③ タブ・ヤマモモ・ヤマザクラなどの種まき、鉢上げ体験活動

平成 23 年 8 月 27 日

塚脇農園

④ ドングリ拾い環境学習（子どもたちと高齢者等との交流活動）

平成 23 年 12 月 10 日

上野原縄文の森

4 自然生態系及び地球温暖化に関する活動

① 「ノヒメユリ」「カワラナデシコ」植生調査・保護活動



環境省指定絶滅危惧種「ノヒメユリ」 3本が4本に、今年は8本になりました。
あらたに「霧島錦江湾国立公園」に指定された区域です。遠くに見えるのは桜島です。
直径3cmほどの可愛い花です。



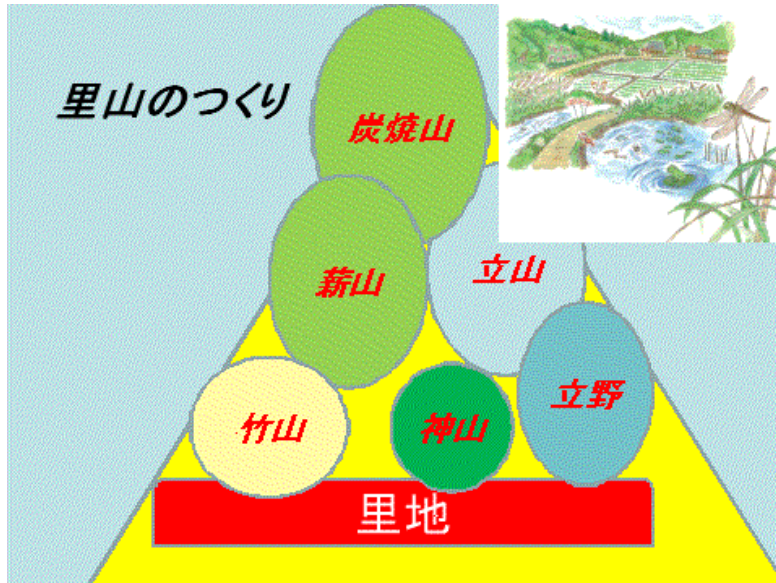
鹿児島県指定「カワラナデシコ」 群生とまではいかないですが、増えてきました。
「なでしこジャパン」なのでしょうか。



ガンセキランもクマガイソウも元気です。

5 自然環境系諸団体との交流

① 鹿児島県の里山を歩いてみました。



「鹿児島県の里山」は

- ・ **立山**
建築材等の有用樹を育てる
- ・ **立野**
屋根用や飼料用の茅を育てる
- ・ **竹山**
筍，生活具製作用の竹を採る
- ・ **神山**
鎮守の森，「いのちの森」です。

- ・ **薪山**
燃料・肥料供給地
- ・ **炭焼山**
木炭の供給地

私たちはこれまで里山と共に生きていました。身近だった里山を霧島で探しました。
鹿児島県の里山には、神山という「いのちの森」がありました。

② 環境省登録「鹿児島カーボンマネジメント協議会」と交流



鹿児島市主催の「環境フェスタ」で子どもたちに木の二酸化炭素吸収源「カーボンオフセット」の仕組みの説明や坪田愛華ちゃんの「地球の秘密」紙芝居による読み聞かせに参加しました。